

令和6年度 第1学年国際理解コース 英語合宿 (English Summer Camp)

田中・大谷



8月7日(水)～8月9日(金)の3日間、知多にある愛知県美浜自然の家で英語合宿が行われました。この合宿には第1学年国際理解コースの生徒30名と引率教員2名が参加し、外国人講師2名の出身国の文化に触れたり、仲間と英語での意見交換やプレゼンテーションをしたりしました。

【1日目の活動】

1日目の研修では、自己紹介をしたり、講師の先生の母国についてお話を聞いたりしました。また、愛知県美浜自然の家の敷地内で Scavenger Hunt※をしたり、ディクテーション活動をしたりしました。初め生徒たちは英語で会話することに違和感があると感じている一面もありましたが、ゲームなどの活動をとおして楽しく英語でコミュニケーションをとることができていました。

※Scavenger Hunt では、決められたアルファベットから始まるものを探す活動を行いました。



【2日目の活動】

この日は意見の述べ方や討論をする際に必要になってくる英語表現を学習しました。自分の学校の良いところや改善点をグループで話し合う活動では、意見はあるものの、それを英語で表現することに難しさを感じている生徒もいました。しかしそこで諦めてしまうのではなく、知っている単語を使って表現しようとしている姿がありました。また、夜のキャンプファイヤーでは、ファイヤーを囲みながら英語でゲームを行ったり、smore という、マシュマロをクッキーで挟んだお菓子を食べたりしました。1日中研修室で講座を受けた後のアクティビティでしたが、生徒たちは活発で、キャンプファイヤー中も様々なアクティビティに全力で取り組んでいました。



【3日目の活動】

最終日は、日本の文化の中で世界に広めたいものについて、グループでプレゼンテーションを行いました。一人ひとりがワークブックに原稿を書き、暗記をし、発表をしました。アイコンタクトやジェスチャーなど、プレゼンテーションをする際に必要となってくるスキルを駆使し、それぞれのグループが自分たちの考えを発表することができていました。



この研修をとおして、英語のスピーキング及びリスニングの力をつけることができました。また、完璧な英語でなくても、相手に自分の思いを伝えようと努力をしている場面も見られました。さらに、普段あまり話さない人と意見交換をしたり仲間と笑顔で交流する中で、生徒同士の仲をこれまで以上に深めることができた合宿になりました。

